

休日当番医など (8月1日~9月15日)

地域医療課 ☎27-8572

休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

8月2日(日)	小名浜生協病院 こうじま慈愛病院 常磐病院	9時~17時	小名浜岡小名 53-4374 錦町 63-5141 常磐上湯長谷町 81-5522
9日(日)	小野整形外科医院 小林胃腸科・肛門科医院 榎田病院 いわき湯本病院	9時~17時	平谷川瀬 22-2414 小名浜元分 53-4466 植田町 63-3202 常磐湯本町 42-3188
10日(月)	吉田整形外科医院 石井脳神経外科・眼科病院 こじま内科 根本内科胃腸科医院	9時~17時	平研町 22-6030 小名浜林城 58-3121 遠野町上遠野 74-1500 常磐湯本町 43-4100
13日(木)	須田医院	9時~17時	小島町 27-6060
16日(日)	見城整形外科クリニック 中村病院 なこそ病院 比佐医院	9時~17時	中央台飯野 28-3985 小名浜大原 53-3141 勿来町 65-7755 常磐湯本町 43-2313
23日(日)	やまぐち整形外科 呉羽総合病院 かとう内科クリニック	9時~17時	鹿島町走熊 29-7000 錦町 63-2181 常磐西郷町 72-0072
30日(日)	かしま病院 矢吹病院 さかもと内科胃腸科クリニック	9時~17時	鹿島町下蔵持 58-8010 佐糠町 63-1818 常磐関船町 72-2022
9月6日(日)	村岡産婦人科医院 呉羽総合病院 常磐病院	9時~17時	小名浜岡小名 92-4578 錦町 63-2181 常磐上湯長谷町 81-5522
13日(日)	おなほま腎・泌尿器科クリニック こうじま慈愛病院 いわき湯本病院	9時~17時	小名浜林城 84-5011 錦町 63-5141 常磐湯本町 42-3188

日曜 小児専門当番医 9時~12時

8月	2日	相原小児科医院	内郷御厩町 26-5551
	9日	福田小児科医院	平下荒川 22-4272
	16日	しがこどもクリニック	鹿島町久保 58-5505
	23日	森のこどもクリニック	植田町 38-7227
9月	30日	むらまつ小児科	常磐関船町 72-0707
	6日	若松医院	平大町 22-3838
	13日	ながい小児科	平上荒川 28-2535

休日夜間急病診療所【内科・小児科】

総合保健福祉センター隣 ☎27-1208
平日：20時~23時 土曜日：19時~23時
日曜日：14時~18時、19時~23時
祝日、8月13日・14日・15日：9時~13時、14時~18時、19時~23時
※「発熱外来」を設置する場合には、休日・夜間における通常の診療を休止することがあります。

休日救急歯科診療所

総合保健福祉センター内 ☎27-8620
日曜日、祝日、8月13日・14日・15日：9時~12時、13時~16時(受付終了時間15時30分)

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関、または消防署(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日 診療協力医 ※休日当番医の場合は、左表に記載しています。

【内科】	山口医院 (平作町)	9時~17時	☎24-1811
8月 2日、16日	9月 6日		

須田医院 (小島町)	8時30分~12時	☎27-6060
8月 9日・10日、23日、30日	9月 13日	

【泌尿器科】	常磐病院 (常磐上湯長谷町)	9時~15時	☎81-5522
8月 9日・10日、13日・14日・15日・16日、23日、30日	9月 13日		

【眼科】	中央台たなか眼科 (中央台高久)	9時~14時	☎29-1722
8月 2日、9日、16日、23日、30日	9月 6日、13日		

【婦人科】	いわき婦人科 (内郷綴町)	9時~17時	☎27-2885
8月 15日			

【皮膚科】	金生皮膚科医院 (平三倉)	8時30分~17時	☎22-2378
8月 10日			

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。
※診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

休日夜間救急電話相談・急病診療 (往診) 【内科・小児科・救急科など】

いわきFCクリニック (常磐上湯長谷町)
電話受付 14時~翌日3時 ☎88-7706

8月・9月	日曜日、祝日、8月13日・14日・15日
-------	----------------------

※事前に電話連絡が必要です。

県子ども救急電話相談 ☎024-521-3790または#8000 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時~翌朝8時

●かかりつけ医を持ちましよう

●「いびき」受診せよ

●救急車は適正に利用しよう

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ(ホームページ) <https://iwaki-dr.com/>

市民の健康教室



提供・問い合わせ (一社)いわき市医師会 ☎38-4201

スギ花粉症への舌下免疫療法 (SLIT)

全国的にはスギ花粉の後、ハンノキやヒノキ、シラカバ、夏はイネ科、秋はヨモギやブタクサなどの花粉が飛散します。福島県の場合には、スギ花粉は二月下旬ごろから飛散します。

スギ花粉症は一度発症すると、すぐには自然治癒しませんが、中には七十歳以上になると、症状が軽くなる方もいます。

スギ花粉症の治療には、アレルギー免疫療法として以前から皮下注射がありました。近年、舌下免疫療法による治療が開始されています。同療法は、アレルギーの原因となるスギ花粉エキスを口内に計画的に投与するもので、体をアレルギーの原因物質に慣らすことで症状を和らげる治療法です。

治療は、一日一回、同エキスを舌の下に二分間保持し、飲み込みます。その後、五分間はうがいや食事はできません。これを二週間かけて徐々に同エキスの投与量を増やして行きます。

また、服用の前後二時間の運動や入浴が規制されるなどの条件があるほか、スギ花粉シーズン中には、同療法を開始することができません。

副作用は軽度から中等度のものであります。かかりつけ医に相談し、十分理解した上で治療を行うかどうか検討してください。

増加していき、三年から五年継続することで、七十パーセントの人には有効とされています。

同療法のメリットは、皮下注射と違い痛みがなく、自宅での服用で症状が改善し、薬の量を削減できることです。しかし、スギ花粉症でない方や重いぜんそく・がん・免疫系疾患がある方は治療を受けることができません。

年齢制限はありませんが、舌の下に錠剤を保持する行為ができれば、治療を受けることが可能となるため、現実的には小学生以上が対象となります。

また、服用の前後二時間の運動や入浴が規制されるなどの条件があるほか、スギ花粉シーズン中には、同療法を開始することができません。

副作用は軽度から中等度のものであります。かかりつけ医に相談し、十分理解した上で治療を行うかどうか検討してください。

糖尿病医療録 ⑤

けんこうQ&A

リウマチ膠原病内科⑤

シエーグレン症候群
Q どのような病気ですか?
A 自己のリンパ球が自分の涙腺や唾液腺を攻撃して破壊し、涙や唾液が減少する病気で、女性に多く見られます。
主な症状としては、目が乾燥するドライアイや、口腔が乾燥するドライマウスなどの乾燥症状が特徴です。他に関節痛や皮疹、リンパ腺の腫脹、疲労感などの症状も見られます。
また、関節リウマチや他の膠原病に合併する場合があります。内臓の病気による変化(内臓病変)として、肺や肝臓、腎臓、甲状腺、神経などに障害が生じる場合もあります。

糖尿病腎症
体の中で腎臓が果たす重要な役割は、血液中の老廃物や不要物をろ過し、尿として体外に排出することです。この腎臓のフィルター機能によって、私たちの体の血液は適正な状態に保たれていると言えます。
糖尿病により腎臓の働きが悪くなると、血圧が上昇する、尿中にたん白が出る、体がむくむなどの症状が現れます。さらに腎臓の働きが悪化すると、血液中に老廃物がたまり、腎不全や尿毒症など生命に関わる重篤な症状を引き起こします。腎不全になってしまうと、人工透析を受ける必要が出てきます。人工透析を導入する原因の第一位は、糖尿病腎症によるものです。
同腎症は、一般的にゆっくり時間をかけて進行します。定期的に微量アルブミン尿を測定することにより、早期に同腎症を発見し、診断することが出来ます。発症を防ぎ、進行を抑制するためには、継続的な血糖のコントロールや定期的な尿検査を受けることが大切です。

Q 乾燥症状に対する対症療法が中心です。ドライアイに対しては、人工涙液などの点眼薬の使用、ドライマウスに対しては、唾液腺を刺激する内服薬の服用や人工唾液・うがい薬の使用などです。内臓病変を合併した場合は、ステロイド剤や免疫抑制剤が必要な場合もあります。
日常生活上の注意点は、点眼を小まめにする、長時間目を酷使しない、よくかむ、口腔浸潤剤を使用する、耳下腺マッサージをするなどです。乾燥症状のある方は、ドライアイは眼科、ドライマウスは歯科・口腔外科の受診をお勧めします。